

特別支援教室「くすのき」



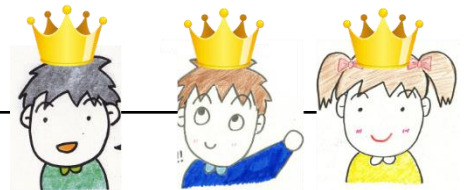
拠点校	小平第十四小学校	小平市仲町 33	Tel 042-343-0201
巡回校	小平第二小学校	小平市仲町 310	Tel 042-341-0033
	学園東小学校	小平市学園東町 2-15-1	Tel 042-344-6801
	花小金井小学校	小平市花小金井 1-35-1	Tel 042-463-5051

特別支援教室とは

通常学級に在籍しながら、一部特別な支援を必要とするお子さんが通う教室

《こんなお子さんいませんか？》

- ・授業中に立ち歩いたり、体を動かしたり落ち着かない様子が見られる
- ・周囲のことで気が散り、集中できる時間が短い
- ・興味、関心の偏りやこだわりが強く、切り替えがうまくいかない
- ・初めての経験や予定変更、見通しのもてないことに不安が強い
- ・相手の話が聞き取れなかったり、忘れたりする
- ・時と場を考えないおしゃべりや行動がある
- ・困ったときに、上手く伝えられない
- ・集団行動がとれず、勝手な行動をしてしまう
- ・友達とトラブルがある（カッとしやすい、手が出てしまう）
- ・体の動かし方がぎこちなかったり、よくぶつかったりする
- ・細かな手先の作業が苦手
- ・刺激（感触・光・音・食感）に敏感
- ・身の回りの整理整頓ができない
- ・忘れ物や落とし物が多い
- ・読み書き計算など、一部の学習につまずきがある
- ・黒板の文字を写すことが苦手



くすのきでは・・・

- ①自分のよさに気付く
- ②得意なことはどんどん伸ばし、苦手なことは少しずつがんばる
- ③自分も周りも気持ちよく過ごせるコツを知る

1 くすのきの指導

小平第十四小学校を拠点校とし、教員が、小平第二小学校、学園東小学校、花小金井小学校へ巡回指導に行きます。

一人一人のお子さんに個別指導計画（在籍学級と連携型）を作成し、保護者・学級担任・くすのきで共通理解を図ります。個々の特性に応じた課題に合わせて、小集団指導や個別指導の授業を設定します。

2 くすのきの指導時間と指導期間

くすのきの指導時間は、お子さんの実態に合わせ、週1時間から2時間で設定します。また、学校行事や時間割等を考慮して決めます。（年度途中からの利用の場合は、考慮が難しいこともあります）。

特別支援教室では、原則一年間の指導期間として指導目標を設定しています。目標の達成状況に応じて保護者・学校・くすのきで話し合いを行い、指導終了の決定をします。指導終了後も、学級担任、保護者、お子さんの相談を受けることができます。

3 主な指導内容（自立活動）

一人一人の課題に応じて、小集団指導と個別指導を効果的に組み合わせます。

小集団指導 （運動）	小集団指導 （コミュニケーション・社会性）	個別指導 （実態による個別課題）
<u>基本的な体の動かし方</u> ・感覚統合 ・体幹作り、ボディイメージ、各部位の使い方と協応動作 ・空間認知 <u>体のコントロール</u> ・動一静止、リズム感や速さ、強弱、方向の調整力、バランス ・力の入れ方と抜き方等 <u>体力の向上</u> ・集中力や注意力 ・持久力、耐性 <u>ボール運動や集団ゲーム</u> ・集団行動、協力、ルール ・勝敗の受け入れ	学習態勢の確立 ・着席、注視、傾聴 ・発言のルール等 社会的行動スキル ・あいさつ・返事・マナー ・人とのかわり方、集団参加 ・ソーシャルスキル・折り合い ・場面对応力を高めるスキル 言語・コミュニケーション ・感覚や感情の言葉・切り替え ・非言語（表情や眼差しの理解） ・状況理解・伝え方 ・他者意識、ルールの共有 ・コミュニケーションスキル ・助言や補助の受け入れ	認知特性による教科的課題 ・読み書き計算・推論等 ・将来を見通した基礎学力 ・認知・概念形成 視知覚課題 ・見て考える、短期記憶 ・ビジョントレーニング（目の動き・注視） 協応動作課題 ・手指の巧緻性・目と手の協応 自己理解課題 ・得意な分野の発見や指導 ・苦手なことへの対応や指導 ・自尊感情、自己肯定感 ・援助要請

※くすのきで指導を受けることが決まったら、ご家庭でお子さんに何をする所かをよく話してください（授業を抜けて遊ぶ場所ではなく、苦手なことに取り組んで、できることを増やす場所です）。

4 お知らせとお願い

① 連絡ファイル（くすのきノート）

- お子さんの学習上又は生活上の困難さの改善・克服を図るために、保護者、学級担任、くすのきでのお子さんの様子を情報共有するためのファイルです。毎回、指導後に学級担任を通してお渡しします。くすのきや在籍学級での様子をお読みいただき、通信欄にご家庭での様子や質問などをご記入ください。
 - お子さんがくすのきで学習したことをご家庭でも話題にして、できたことを具体的に褒めてあげてください。
- 指導日にお子さんに持たせてください。

② 欠席

- 指導日に学校や学年、学級で行事がある場合は、お子さんの実態と教育内容等を踏まえて、くすのき、学級担任、お子さんと話し合い、参加の有無を決めます。
 - 基本的には学校や学年、学級の行事を優先します。
- 小平第十四小の行事等の振替休業日は、巡回先の特別支援教室もお休みとなります。

③ 個人面談

- 年間2回、くすのき教室と保護者との面談を行います（必要に応じて学級担任も一緒に）。詳細は追ってご連絡いたします。

④ ご相談がある場合には、各在籍校にご連絡ください。教員が他校勤務の場合でも、各校特別支援教室専門員を通して連絡ができます。

⑤ 情緒小委員会での判定会后、入室が決まりましたら「確認書」に署名をいただきます。書類等が整い次第、指導開始となります。開始日が決定後、学級担任を通してご連絡します。

- 「特別支援教室に関する確認書」は、指導を受けるにあたっての内容確認の書面です。

「くすのき」では、自分のよさに気付き、得意なことはどんどん伸ばして自信をもてるようにしています。また、苦手なことは少しずつがんばれるようにします。

苦手なことに直面したとき、「やりたくない」となることがあります。でもこの「やりたくない」は本当にやりたくないのではなく、やりたいのに難しいという本心が隠れています。例えば、周りが気になって集中することが難しかったり、長い話を覚えておくことが苦手だったりと様々な背景が考えられます。この背景を学級担任を含め、学校全体で考え、支援の方法を探っていきます。

一人一人の背景を把握し、個々に応じた支援を担当やご家庭と考えていく役割を「くすのき」が担っています。「くすのき」では、実際にその子にあった覚え方や集中するためのコツをつかませたり、コミュニケーション力の向上を図ったりします。また、自分の気持ちや思いを言葉で上手に表現できるように支援しています。



自分だけのよいところ、オンリーワンを見付け、自分も周りのみんなも楽しく生活できるように、「くすのき」では、指導・支援をしています。お気軽にご相談ください。